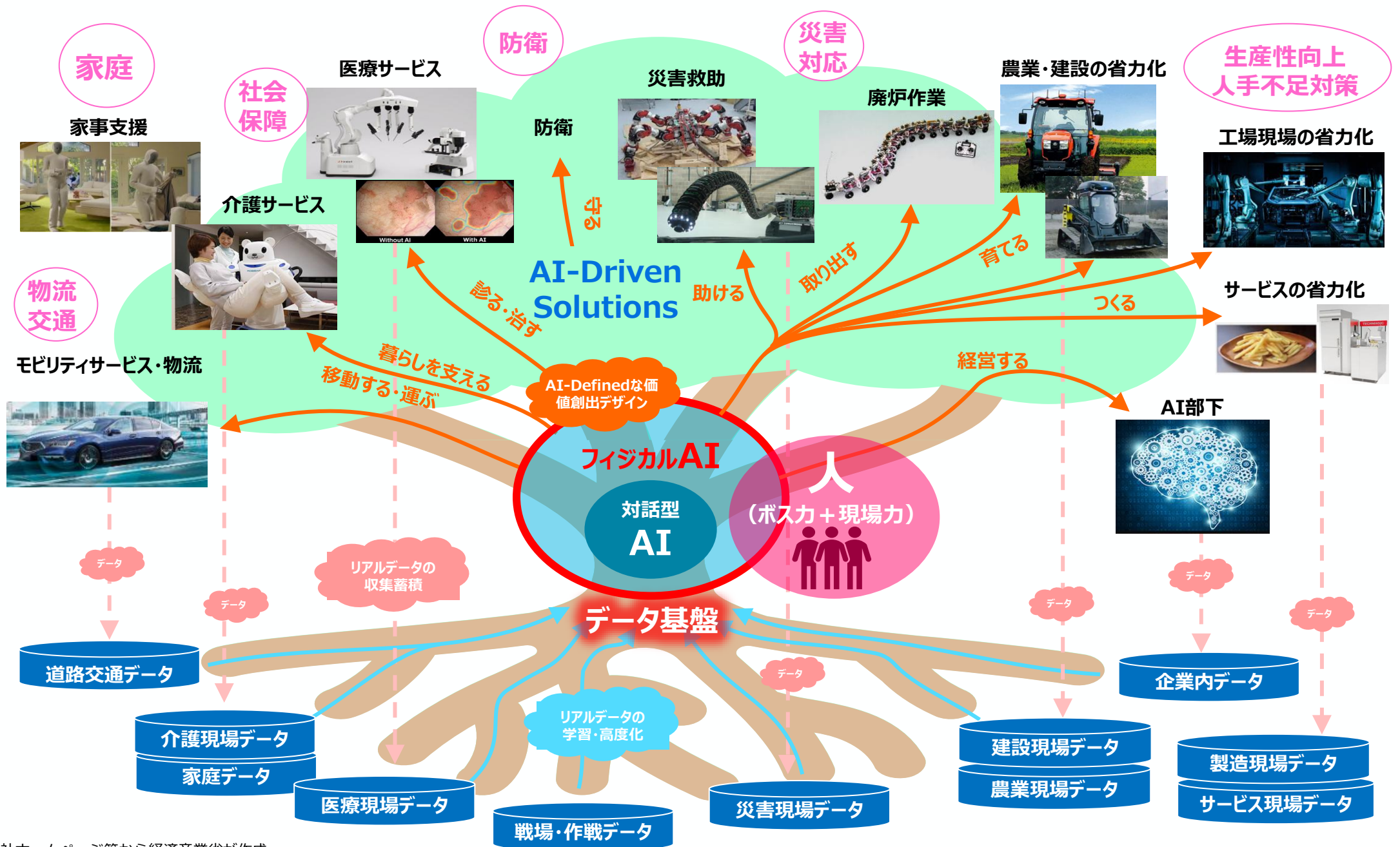


フィジカルAIの実装に向けた 取組の全体像

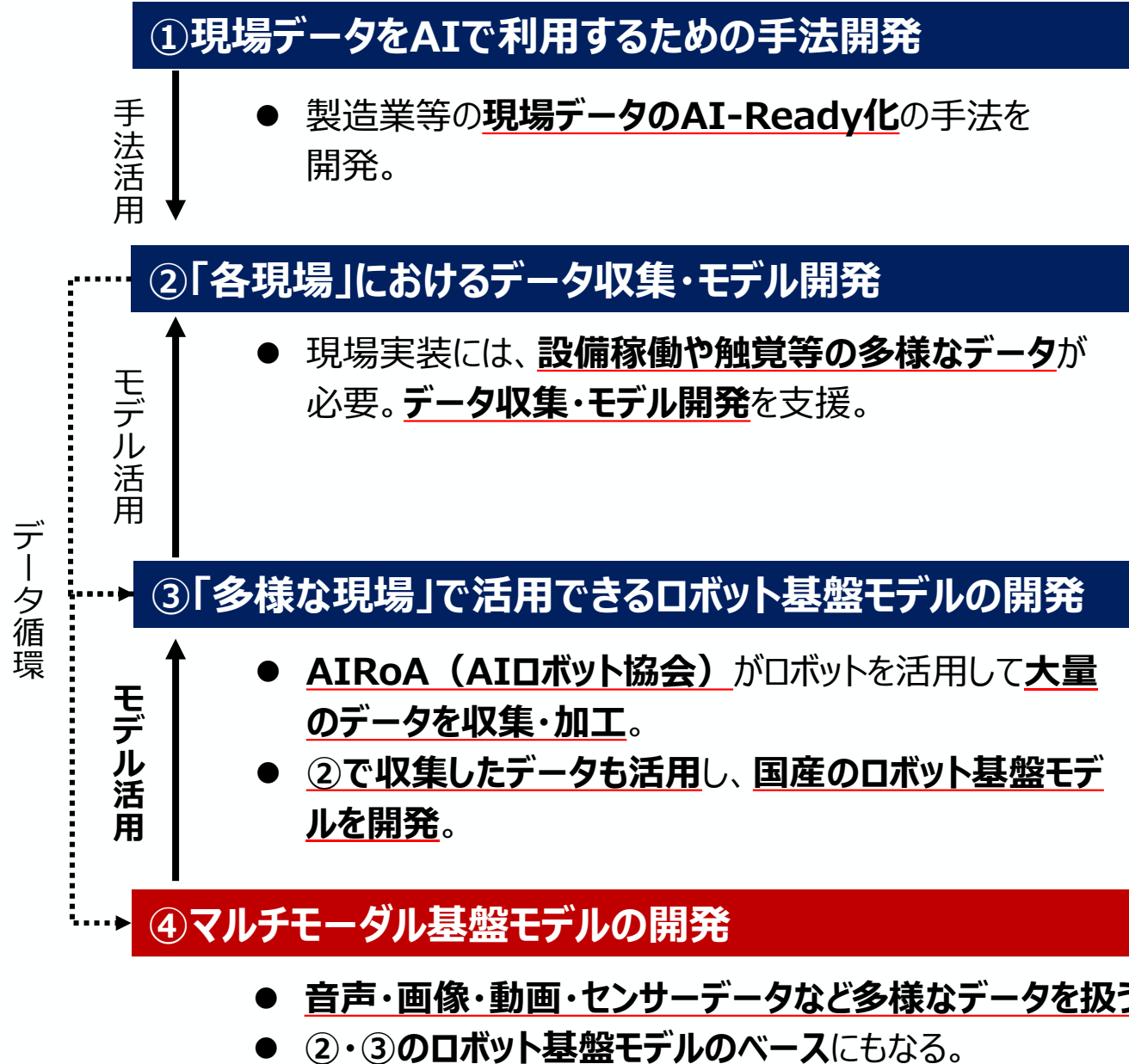
2026年7月16日

商務情報政策局

AX (AI Transformation) の全体像



AXの鍵となるフィジカルAIのエコシステム



GENIA
Generative AI Accelerator Challenge
(2024.2～)

AIRoA
AI Robot Association
(2024.12～)

FRONTia
(2026.7～)

FRONTia（フロンティア）プロジェクト

- 「実世界を自然と理解する、信頼性の高いA I 基盤」を意味する
「Foundation for Real-world Omnι-Native Trustworthy Intelligence & Alignment」の頭文字から
「FRONTia」（フロンティア）と名付ける。

The rise of real-world intelligence.



Foundation for Real-world Omni-Native Trustworthy Intelligence & Alignment

AIは情報世界を出て、実世界へ。
いま、より複雑で豊かな現実の中で動き出そうとしている。

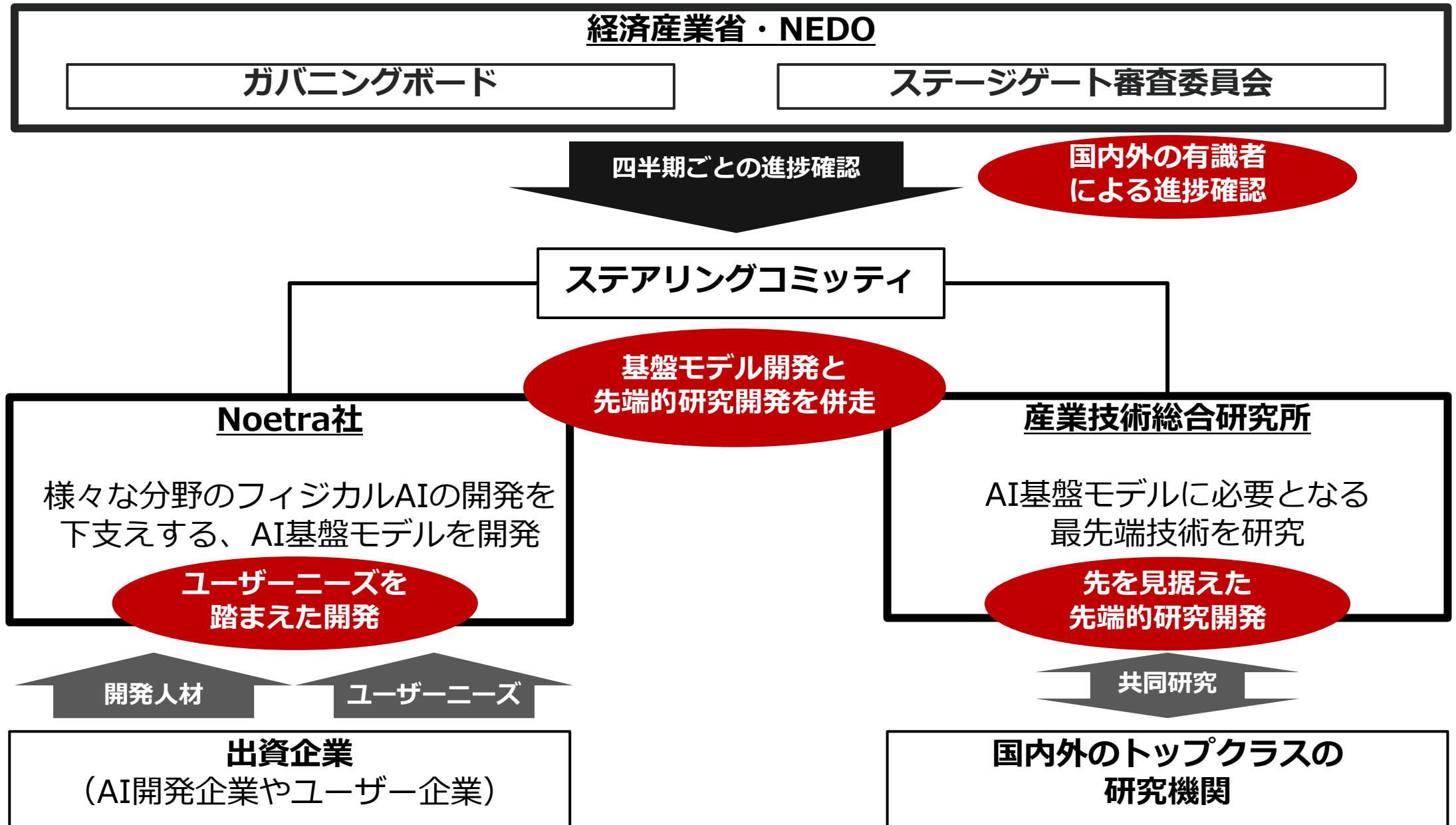
その新時代を切り拓く挑戦が、日本からはじまる。
ものづくりの文化、精密さへの情熱、品質への誇り。
技術とともに歩んできたこの国には、
暮らしの中に新技術を実装する、確かな現場力がある。

技術と、文化と、人。
その全てを結集し、
世界の知性とながら、共に創る。

信頼されるAIを、世界へ。
技術の最前線（FRONT）に立ち、人と共にある世界（ia）を拓く。

The rise of real-world intelligence.
FRONTia

FRONTiaプロジェクトの全体構造



学習データに関する連携企業

- 現時点で、以下の企業との連携関係を構築。今後更に連携を拡大し、多様なデータを扱っていく。

製造業等の現場データの
AI-Ready化手法
の開発

AIQNA

Alxtal

Fairy Devices

Fast Label

FLYWHEEL

HITACHI

Hutzper

Stockmark

SYNTHETICGESTALT

製造業等のデータセットの
構築

AIRoA
AI Robot Association

ベアーズ
“今ここ”を生きるあなたへ

DMG MORI

ELEMENTS

法政大学
HOSEI University

Kawasaki

神戸大学

KOMATSU

STATION Ai

触覚データ等を用いた
エッジAIの開発

HONDA
Honda R&D

理化学研究所
RIKEN

海外連携

- カナダ、フランス、ドイツ、英国、米国の研究機関とも連携体制を構築し、先端的な研究開発を実施。その成果をモデル開発に統合していく。
- 連携先は、今後さらに拡大させていく。



連携にむけて検討を進めている国々



AIロボットの社会実装に向けた政策の全体像

2040年に1,000万台のAIロボットを国内導入 ➡ 18分野のロードマップに基づき、市場・制度・技術課題を解決

※ 18分野：製造業（多品種少量生産）、造船、物流（倉庫・輸配送）、建設・土木、建築、インフラ保守、小売、宿泊業、飲食・食品製造、医療、介護、警備業、農業、林業、廃棄物処理業、災害対応、警察活動、防衛

